

## 1 実施状況

対象学校	小林市立永久津中学校・小林市立永久津小学校
活動分野	学習支援活動・環境整備・登下校の安全指導・学校行事・伝統芸能継承
<b>【学校支援の取組】</b> ○ 読み聞かせ（通年） ○ 地域の小中生登下校見守り活動（通年） ○ 昔の遊び（通年） ○ 農家民泊（6月） ○ 特別養護老人ホーム「陽光の里」との交流体験活動（6月） ○ 生き生き公民館活動（6月・10月） ○ 大豆プロジェクト（7月・12月・2月） ○ 平和学習（戦争遺族会による講話）（8月） ○ 田植え体験（6月）○ 稲刈り体験活動（11月）○ 脱穀体験活動（11月）○ 収穫祭（12月） ○ めのもち作り（1月）○ 芋植え体験活動（6月）○ 芋収穫体験（11月） ○ 岡原田の神踊り（めしげ踊り）指導（8月） ○ 門松作り（12月）	
○地域コーディネーター（2）人 ○ボランティア登録数（29）人	

## 2 特色のある取組の紹介

### ① 「稲作体験」と「収穫祭」→「めのもち作り」へ！



#### 【ここがイチオシ・本部自慢！】

田植え、稲刈り、脱穀や大豆プロジェクトを体験し、地産地消に貢献します！

#### ○ 活動内容

- この体験活動は、小中学校合同で事前の計画を立て、中学校の生徒、小中の職員、営農組合、地域コーディネーターとで打合せをするところから始まる。まずは、小学校5、6年生と中学生とで、田植えから稲刈り、さらに脱穀も体験する。収穫した餅米は、収穫祭で醤油餅やきなこ餅として保護者や地域の方にも振る舞われる。保護者、永久津地区「母ちゃんの会」や「ドンとやろう会」の皆さんが温かい豚汁を作ってください、交流活動に花を添えることになる。



【小中合同の田植え】

今年度は、インフルエンザ流行により、収穫祭からめのもち作りに変更となった。また、JAや地域の方々とともに今年度初めて、大豆プロジェクトを立ち上げ、栽培から加工まで地産地消を目指して、幼小中連携した活動を行なった。

#### ○ 事業を実施して（参加者等の声）

- 自分たちで田植えをして育てた餅米で作った餅はとてもおいしく、いろいろな調理方法があるのにびっくりしました。また、大豆プロジェクトに参加して、改めて永久津の良さを実感しました。（児童・生徒）
- 収穫祭の代わりにめのもち作りを行い、西諸地区の伝統を知ることができてよかったです。（児童・生徒）
- 食育指導の一環としても、保護者や地域の方々に感謝です。（教職員）



【めのもち作り】

### ② 「めしげ踊り」



#### 【ここがイチオシ・本部自慢！】

「めしげ踊り」の伝統を引き継ぐ。地区内高齢者から保護者へそして子どもに！

#### ○ 活動内容

- 小中合同運動会で岡原地区に伝わる岡原田の神踊り別名「めしげ踊り」を披露した。保存会の今別府満氏に指導を仰いでいる。いろいろな伝統を地域全体で保護者、子どもへ伝えていく。



【めしげ踊り】

#### ○ 事業を通して（参加者等の声）

- 地域の中の学校として、伝統芸能や文化を大人から子どもに伝承していくことは、この事業の趣旨として大切な部分である。（教職員）
- 運動会の場で、めしげ踊りを披露することができてよかったです。（児童・生徒）
- 地域指導者から子どもにめしげ踊りを指導され、伝統継承につながり、よかった（保護者）